



進路だより

一関学院高等学校 進路指導部

【 第7号 】 文責

令和7年10月31日（金）発行

大学訪問研修が実施されました！

10月24日（金）に、1・2年生の特進コース、2年生の進学コースを対象にした大学訪問研修が実施されました。今回の大学訪問研修では、岩手県盛岡市にある岩手大学と、滝沢市にある岩手県立大学の二大学にご協力をいただき、大学とはどのような場所なのか、どのような学びができるのかを実際に見て学ぶことができました。

午前中は、岩手大学を訪問しました。岩手大学は、人文社会学部、教育学部、理工学部、農学部、獣医学部の五つの学部からなる岩手県内の国立大学です。大学に到着してから、二つの班に分かれてバスで学部の説明会場まで移動し、各学部を見学したり、説明を聞いたりしました。大学構内なのにバスで移動しなければいけないほどの敷地の広さに驚いた人も多くいたのではないのでしょうか。A班は人文社会学部と理工学部の見学、B班は教育学部と農学部の見学をそれぞれさせていただき、高校とは違う、大学での専門的な学びについて深く知ることができました。また、一つの講義が一時間半だったり、自分自身で講義を選んで時間割を設定したりという大学の授業スタイルを聞いて、自由度が高くなる半面、自己責任の部分も増えてくることを実感したように見受けられました。

午後には、岩手県立大学を訪問しました。岩手県立大学は、看護学部、社会福祉学部、ソフトウェア情報学部、総合政策学部の四つの学部からなる、岩手県内の公立大学です。先ほど紹介した岩手大学と、設置されている学部が全然違いますね。大学には、それぞれの特色をもった多種多様な学部が存在するので、自分の目的にマッチしている学部が必ず見つかるはずです。

岩手県立大学では、学生ボランティアの方々によるキャンパスツアーが行われ、現役大学生の方から直接お話を聞ける貴重な機会になりました。その中で「1.01と0.99の法則」のお話が特に印象に残っているので、皆さんにも紹介します。1.01の365乗は37.78ですが、0.99の365乗は0.03になります。ということは、毎日1%ずつ努力をした人と、毎日1%ずつ怠けた人とは、1年後にはとても大きな差が開いてしまいます。日々の小さな努力の積み重ねがいかに大事なのか、ということに気付ける法則だと思うので、皆さんもぜひ1%の努力を習慣化させることを意識してみてください。

今回は学校行事として大学を訪問しましたが、参加した生徒は実際に訪れないと分からないことはたくさんあるということを身に染みて感じたことでしょう。「百聞は一見に如かず」という言葉があるように、進学先や就職先についていくらネットから情報収集をしたり、先輩から話を聞いたりしていても、自分の目で実際に確かめることほどの確実性はありません。オープンキャンパスの参加や職場見学に「早すぎる」ということはないので、自分が気になった学校や職場があれば、どんどん自分の目で確かめに行きましょう！

「いちのせき産業まつり 商工祭」で販売体験をしました

10月18日（土）、19日（日）になのはなプラザで「いちのせき産業まつり 商工祭」が行われました。地域物産に対する理解と認識を高め、生産者と消費者が直接交流をすることで、地域産業の発展につなげるという目的を持ったこの催事に、本校の総合ビジネスコース2年と商業部の生徒が一関学院の代表として出店をしました。商業部は一日目に学院祭の時にも販売した「校章・校名入りのどらやき」「校章・校名入りのかぼちゃ饅頭」「蜂蜜入りシュークリーム」を、2年B組は二日目に京都にある「すずなり屋のベビーカステラ」をそれぞれ販売しました。普段の学校生活では学ぶことのできない接客のマナーや、コミュニケーション力を高めることができました。



「卒業生から学ぶ会」が開催されました



10月7日（火）5、6校時に「卒業生から学ぶ会」が開催されました。今回は、進学や就職などそれぞれの進路を選んだ8人の先輩方が来校し、自分の経験をもとにこれから進路選択をしていく後輩へのアドバイスや、進学先、就職先でのリアルな体験談を話していただきました。当日の先輩方によるお話の中から抜粋したものを、いくつか紹介させていただきます。

【進学】

○受験時の対策

- ・面接の自信をつけるために、担当の先生や友達に何度も付き合ってもらい、答えを丸暗記するのではなく自分の言葉で自分の強みを答えられるようにした。
- ・自問自答ノートを作り、理解を深めていく努力をした。
- ・受験予定の大学の問題傾向をつかむために、赤本を中心に過去問を繰り返し解いた。
- ・志望校の情報収集を徹底的に行った。志望校の入試制度を理解することで効率的に対策ができる。

○高校生のうちにしておいた方がいいこと

- ・使わないと思っていた分野が講義でふれられていたり、高校で覚えておいたら、今楽だったかなということがあるので、勉強はいくらしていても後悔しない。しっかり基礎知識を身につけることが大事。
- ・計画性をもって取り組む力を身につけておくこと。また、探究心を持つこと。
- ・大学では高校のように注意をしてくれる人がいない。提出物や課題など、締め切りを過ぎたら受け取ってもらえないのは当たり前。高校生のうちから、約束事を守る習慣をつけておくこと。

【就職】

○社会人になってから感じたこと

- ・仕事一つ一つに対する責任の重さ。ミス一つが大きな混乱を招き、人との信頼関係にも関わる。
- ・主体的に動いて仕事を見つけ、取り組む力が求められるため、指示を待っているだけではいけない。
- ・幅広い年代の人と関わるため、挨拶や「報・連・相」を徹底し、相手とのコミュニケーションを積極的に取っていく必要がある。

○高校生のうちにしておいた方がいいこと

- ・勉強癖（メモ癖）をつける。社会に出ても仕事の知識や社会人としてのマナーなど、学ぶことは多い。
- ・挨拶、笑顔、元気を忘れない。よりよい人間関係をつくるためにも、チャンスを貰う機会をつくるためにも必要である。
- ・メリハリをつける。授業、休み時間、放課後など、きちんと切り替えを出来るようにする。
- ・自分で考えて行動する力をつける。人に言われたことをただやるだけでなく、「なぜそれをやるのか」「どうすれば改善されるのか」を常に考えて行動する癖を高校生のうちから身につける。

今回の「卒業生から学ぶ会」で先輩方からのお話を聞いたことは、進路で何を始めたらいいか悩んでいた、不安を感じたりしていた高校生の皆さんが少しずつ進んでいくためのヒントに繋がったのではないのでしょうか。進路選択は、皆さんのこれからの人生に関わる大きな分岐点です。将来の自分が後悔をしないようにするためにも、たくさん悩み、たくさん相談し、たくさん努力して、それぞれの道を見つけていってください。進路を進めていく過程で、今回の素晴らしい先輩方からの言葉を思い出し、皆さんの力として活かされていくことを期待しています。

ご協力いただいた_____さん（盛岡大学）、_____さん（東北福祉大学教育学部）、_____さん（東北福祉大学総合福祉学部）、_____さん（城西国際大学）、_____さん（株式会社富士通ゼネラルエレクトロニクス）、_____さん（株式会社プレステージ・インターナショナル岩手BPOフォートレス）、_____さん（東急電鉄株式会社）、_____さん（株式会社オオゼキ）、本当にありがとうございました。今後の皆様の更なるご活躍をお祈りしています！

